

報告事項

平成20年度伝統芸能功労団体賞について

平成20年度伝統芸能功労団体賞について、別紙のとおり報告します。

平成20年11月14日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

## 平成20年度伝統芸能功労団体賞について

文化財課

### 1 表彰趣旨

県内の伝統的な芸能の保存団体の中で、後世への継承のために特に活発に活動を続けている団体に対し、その功労をたたえ、本県の伝統的な芸能の保存・継承を推進することを目的とし、知事表彰する。

### 2 被表彰団体

三朝町さいとりさし踊り保存会（三朝町）  
法勝寺歌舞伎保存会（南部町）

### 3 団体概要等

三朝町さいとりさし踊り保存会 （昭和49年10月18日 県指定）	天下御免の鑑札を持ち、権力を笠に着るさいとりさしに反発した民衆が、さいとりさしの、鳥を捕る様子を身振り手振りで狂言風に踊ったのが始まりと伝えられる。鳥を捕ることから転じて、「嫁をとる」「福をとる」祝狂言として伝承されてきた。 保存会は昭和17年に設立され、以来保存伝承に励んでおり、近年は三朝町立南小学校に平成2年から演技指導を行うとともに、三朝商工会の「あったか座」などに出演するなど、特に保存伝承及び普及に尽力している。
法勝寺歌舞伎保存会 （平成15年4月1日 町指定）	法勝寺歌舞伎は、明治初めに流行した浄瑠璃を背景に成立した地方歌舞伎で、かつては常設の歌舞伎座が設けられ、盛んに行われた。 保存の動きは昭和30年から始まり、以来保存会を再結成しながら、伝承に努めている。近年は、米子の朝日座を始めとする多くの舞台に出演し、普及に努めている。また新たに子ども歌舞伎を上演するなど、後継者育成も盛んに行っている。

### 4 表彰日程及び会場

日 程：平成20年11月23日（日） 午後1時30分から午後1時45分  
第44回「郷土の民俗芸能大会」の開会式において表彰する

会 場：米子コンベンションセンター多目的ホール（米子市末広町294）

表彰内容：表彰状（県産材額縁付）、副賞（伝統工芸品等）授与